

# 写真で学ぶアンテナ(2010年3月31日第2版発行)

本書におきまして、次のとおり誤りがありました。ここに訂正し、深くお詫び申し上げます。

頁	行	誤	正
29	図面 2.1	《図下凡例》 1マイル = 1 609km	《図下凡例》 1マイル = 1.609km ※小数点を入れる
64	上から 5行目	$V = (E \lambda / \pi) \{ \sqrt{G / (L_f L_m L_{att})} \} \sqrt{R / 73}$ で 表されます。	$V = (E \lambda / \pi) \{ \sqrt{G / (L_f L_m L_{att})} \} \sqrt{R / 73}$
96	上から 4行目	100m (径0.5m)	100m (径0.4m)
	下から 3行目	図5.3は普通の接地アンテナ(a)と・・・	図5.3は普通の基部絶縁型アンテナ(a) と・・・
	図面 5.3	《図表題》 図5.3 接地アンテナと頂部負荷形 アンテナの電圧電流分布	《図表題》 図5.3 頂部負荷形アンテナの電圧 電流分布
97	図面 5.4	《図左の記述》 電氣的な伸び $\left( \frac{2\pi h}{\lambda} \right)$ (度)	《図左の記述》 電氣的な伸び $\left( \frac{2\pi h}{\lambda_a} \right)$ (度)
	図面 5.4	—————	$\left( \begin{array}{l} k = 0.7 \\ Z_0 = 330\Omega \end{array} \right)$ ※下部に注釈を追加
148	下から 4行目 と2行目	上下方向に10段 (AB群5段、CD群5 段) 接地され、1段当たりの面数は 塔体の円周上に30面 (15面×2のス ペース共有)	上下方向に10段 (A,B群5段、C,D群 5段) 接地され、1段当たりの面数は 塔体の円周上に30面 (15面×2のス ペース共有)
149	図面 5.62	《図表題》 地上デジタル放送アンテナ群	《図表題》 地上デジタル放送アンテナ群 (ス ペース共有)
170	表5.10	—————	《表下部に注釈を追加》 ※1 アナログ2波 ※2 アナログ7波+デジタル9波
271 (奥付)	著者 略歴	1966年 元古河電気工業(株)技師長 (社)電波産業界 第7回電 波功績賞を受賞	1996年 元古河電気工業(株)情報 通信事業本部技師長 (社)電波産業会 第7回 電波功績賞を受賞